

HuMA News Letter

ネパール中部地震被災者支援の報告

～初動調査および本隊医療支援チームを派遣～

○ネパール連邦民主共和国カトマンズに初動調査チームを派遣

2015年4月25日、ネパールでマグニチュード7.8の地震が発生しました。5月15日の時点で死者は8460人、負傷者は約2万人、被災者は約800万人に上りました。首都カトマンズでは全壊、半壊の建物が多く、余震が続いている地域の住民は家の外での生活を余儀なくされました。



地震の影響で倒壊した家屋



家屋が半壊し、余震から身を守る為、外で生活

地震発生直後からHuMAは情報収集と災害医療支援の準備を始めておりましたが、当時は80以上の外国の医療チームが現地に入り飽和状態でした。しかし今回のネパール地震における医療ニーズが収束するまでには長い時間が掛かることは明白であり、そのような状況の中、HuMAとしては外国の医療チームが引き潮となる地震発生後1か月頃の亜急性期に医療チームの派遣が出来ないか検討していました。5月9日には初動調査隊（日本人医師1名、ネパール人医師1名、調整員1名）を現地カトマンズとその周辺地域に派遣しましたが、初動チームの調査や現地機関との調整の結果、このたび5月17日より本隊医療チームを派遣する運びとなりました。



半壊したヘルスポスト



5月12日の大きな余震で立ち昇る土煙



RAMCHE地区の現地医師に状況確認



本隊派遣の調整の為保健・人口省を訪れる初動調査隊

○ネパールRAMCHE地区に本隊医療支援チームを派遣

初動隊の関係先との調整により、HuMA医療チームの活動地域は首都カトマンズの北に位置するRAMCHE地区のPHC(Primary Health Center)と決定、5月16日より医療チーム本隊3チーム(医師6名、看護師6名、調整員3名総計15名)を順次派遣、医療支援活動を開始しました。同PHCで現地医療スタッフと共同で1000名を超える患者の診療にあたり、ネパール保健・人口省及び、HuMAの活動を理解、応援してくれた在ネパールの日本大使館に、医療支援活動の最終報告をしたあと、6月6日最終三次隊が無事帰国しました。



RAMCHE PHCへは4WDの車で移動



RAMCHE PHC仮設診療所で診療を行うHuMA医師



Vscanを見ながら妊婦の検診を行うHuMA医師



創傷の処置を行うHuMA医師、看護師



日本より持参したテントをドネーション



ネパール保健・人口省に報告書を提出、記念写真

○会員募集・寄付金のお願い

HuMAでは本会の活動方針にご賛同いただける会員・賛助会員及び活動資金の寄付金を随時募集しております。

資料請求のお問い合わせ、銀行振込の場合で領収証をご希望の場合、また**寄付者の掲載について**
匿名をご希望の方は下記事務局までご連絡を頂きますようお願い致します。

寄付金受付先

[銀行]

みずほ銀行 根津支店 普通預金口座 8010278
特定非営利活動法人 災害人道医療支援会
理事長 前川 和彦

[郵便局]

口座No. 00190-6-569149
口座名: 特定非営利活動法人 災害人道医療支援会

ただいまの会員数**469名**

・正会員・登録会員**343名**
・賛助会員**126名**

(2015年3月末現在)

発行＝認定特定非営利活動法人 災害人道医療支援会

連絡先＝東京サポート事務局 〒154-0002東京都世田谷区下馬1-32-4アールホフ今井201

TEL/FAX: 03-3413-7510 Email: tso@huma.or.jp ホームページ <http://www.huma.or.jp>